



平成30年における呉市の養殖かき生産量について

1 概要

標記の件について、先月公開された最新データ（農林水産省の平成30年統計調査の結果）により、呉市の養殖かき生産量が全国1位となりましたのでお知らせいたします。

呉市のかき生産量は、平成19年から平成28年まで10年連続で日本一でした。平成29年の生産量は、江田島市が1位で呉市は2位となりましたが、平成30年は、呉市が再び1位に返り咲きました。

2 呉市及び江田島市のかき生産量の推移（むき身重量）

単位：トン

	呉市	江田島市
平成18年	4,539	○4,810
平成19年	○4,421	4,347
平成20年	○4,302	4,292
平成21年	○4,739	4,624
平成22年	○4,785	4,612
平成23年	○4,659	4,639
平成24年	○5,186	5,149
平成25年	○4,827	4,727
平成26年	○5,326	5,062
平成27年	○4,672	4,669
平成28年	○4,153	4,057
平成29年	4,263	○4,644
平成30年	○4,454	4,036

※令和元年のデータは令和3年3月頃に公開される予定です。

3 今後の展望

かき養殖に用いる稚貝は、自然海域から採取する方法（採苗）に依存しており、2～3年の養殖期間を経て出荷されます。

平成26年に全県的に深刻な採苗不調が発生してから以降も、局所的に採苗不調が発生しており、生産量が不安定になっている状況です。

呉市と江田島市の生産量の差は例年僅差であることから、今後も順位は度々入れ替わる可能性があります。